

2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月12日
東

上場会社名 株式会社ネオジャパン 上場取引所
 コード番号 3921 URL <https://www.neo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 齋藤 晶議
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部部長 (氏名) 大坪 慶穂 (TEL) 045-640-5917
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績 (2020年2月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	1,322	—	282	—	294	—	200	—
2020年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 179百万円(—%) 2020年1月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	13.49	13.41
2020年1月期第1四半期	—	—

(注) 当社グループは2020年1月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年1月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	5,750	3,924	68.2
2020年1月期	5,788	3,856	66.6

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 3,924百万円 2020年1月期 3,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2021年1月期	—	—	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想 (2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,331	42.4	540	△22.6	560	△21.9	352	△28.8	23.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年1月期1Q	14,850,000株	2020年1月期	14,850,000株
2021年1月期1Q	128株	2020年1月期	128株
2021年1月期1Q	14,849,872株	2020年1月期1Q	14,815,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの影響が不透明な状況が継続していた中で、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の経済が急激に悪化することとなり、金融市場の急落や有効求人倍率の低下等、さらに先行きの不透明感が高くなっております。

当社グループが属するIT業界におきましては、従来より働き方改革や人手不足、東京オリンピックや緊急時対応のためのテレワークへの関心の高まりなどを背景に、業務効率化を目的とした企業のIT投資額も増加すると見込んでおりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの企業で在宅勤務（リモートワーク）が実施されている中で、改めて業務を効率的に支障なく遂行することを可能とするためのIT投資に関心が高まるものと考えております。

このような状況の中、当社では2020年2月に主力製品であるグループウェア「desknet's NEO」においてスケジュールやアンケートなどの基本機能の使い勝手を向上したことに加え、大塚製薬株式会社との協業により働く人の健康管理を支援するための機能として健康サポート機能を搭載したバージョンアップを実施いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、2020年3月より企業のテレワーク等を推進・支援するためグループウェア「desknet's NEO」及びビジネスチャット「ChatLuck」の無償提供を期間限定で実施しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,322,445千円、営業利益は282,496千円、経常利益は294,397千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は200,349千円となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、原則として前第1四半期連結累計期間との比較・分析は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア事業)

ソフトウェア事業は当社の個別の業績で構成されるため、当社の前第1四半期累計期間との比較・分析を行っております。

売上区分	前第1四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)		
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
クラウドサービス	410,381	52.7	503,845	57.6	22.8
プロダクト	336,592	43.2	348,535	39.9	3.5
技術開発	31,966	4.1	22,268	2.5	△30.3
合計	778,940	100.0	874,649	100.0	12.3

① クラウドサービス

クラウドにて提供する、desknet's NEOクラウド版の利用ユーザー数が順調に推移したことにより、同サービスの売上高は前年同期比70,857千円増加し、395,769千円（前年同期比21.8%増）となりました。また、AppSuiteクラウド版はクラウドサービス全体に占める売上の割合はいまだ小さいものの、前年同期と比較して5,750千円増加し、11,077千円（前年同期比108.0%増）と順調に利用ユーザー数が拡大しております。この他、ASP事業者向けの売上高については、使用料が概ね前年同期と同水準で推移し31,468千円（前年同期比0.3%減）となり、さらに、当第1四半期に19,420千円のカスタマイズ売上が発生いたしました。

以上の結果、クラウドサービス全体での売上高は前年同期比93,463千円増加し、503,845千円（前年同期比22.8%増）となりました。

② プロダクト

中小規模ユーザー向けのdesknet's NEOスモールライセンスにつきましては、クラウドサービスでの利用を希望されるお客様が増加していることもあり、売上高は前年同期比2,119千円減少し、21,311千円（前年同期比9.0%減）となりました。desknet's NEOスモールライセンスにつきましては、クラウドサービスの利用が一般化してきているため長期的には減少傾向にあると認識しております。また、大規模ユーザー向けのdesknet's NEOエンタープライズライセンスにつきましては、堅調に推移し売上高は前年同期比1,750千円増加し、63,558千円（前年同期比2.8%増）となりました。desknet's NEOエンタープライズライセンスにつきましては、大規模ユーザーの企業様等では運用人員を含めた環境が整っていることが多く、クラウド版での利用よりも大規模ユーザーになるほどユーザ単価面でのメリットが大きいことから、当面、desknet's NEOエンタープライズライセンスの需要が大きく減少することは想定しておりません。

ChatLuckライセンスにつきましては、自治体での大型導入等により、売上高は前年同期比5,395千円増加し、14,378千円（前年同期比60.1%増）となりました。

カスタマイズにつきましては、中規模な案件の受注数が増加したことにより、売上高は前年同期比7,060千円増加し、17,310千円（前年同期比68.9%増）となりました。また、desknet's NEO（旧製品を含む）のサポートサービスの売上高につきましては、前年同期比7,836千円増加し、147,509千円（前年同期比5.6%増）となりました。一方で、当社製品との連携製品であるID統合管理ソフトウェアなどの転売売上が前年同期比9,981千円減少し、21,132千円（前年同期比32.1%減）となりました。

以上の結果、プロダクト全体での売上高は前年同期比11,943千円増加し、348,535千円（前年同期比3.5%増）となりました。

③ 技術開発

技術開発につきましては、積極的に受託開発を行う方針ではありません。売上高は前年同期比9,697千円減少し、22,268千円（前年同期比30.3%減）となりましたが、これは大型案件の受注数が減少したことによるものであります。

以上の結果、ソフトウェア事業の売上高は874,649千円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は237,567千円（前年同期比37.4%増）となりました。

(システム開発サービス事業)

システム開発サービス事業は、子会社である株式会社Pro-SPIREが展開する事業で構成されており、同社が長年培ってきたクラウドインテグレーション、システムインテグレーションのノウハウを基礎に技術者の育成を図り、先端技術を活用し新たな顧客ニーズを満たすシステムエンジニアリングサービスを主に提供しております。

システム開発サービス事業においては、従来からのシステム・インテグレーションサービスの維持・規模の拡大に加え、主要顧客である生損保業界のシステム構築において、基幹系（SoR）と情報系（SoE）のノウハウを両輪で持つことを強みとしての提案、受注活動を実施し、収益力・生産性を高める取り組みを実施いたしました。

以上の結果、システム開発サービス事業の売上高は451,195千円、セグメント利益は44,929千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より37,810千円減少し、5,750,475千円となりました。これは主に、現金及び預金が119,438千円減少したこと、及び社債の償還を主な要因として有価証券が119,695千円減少した一方で、新規社債の取得を主な要因として投資有価証券が87,868千円増加したこと、及び前払費用の増加を主な要因として流動資産のその他が45,414千円増加したこと、並びに非連結子会社の設立に伴う払込金を主な要因として投資その他の資産のその他が45,811千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より105,562千円減少し、1,826,310千円となりました。これは主に、納付を主な要因として未払法人税等が99,533千円減少したこと、及び買掛金が24,997千円減少した一方で、前受収益が38,388千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より67,751千円増加し、3,924,164千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が200,349千円計上された一方で、111,374千円の剰余金の配当を実施したことにより、利益剰余金が88,975千円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が21,224千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年3月13日付「2020年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,996,478	2,877,040
売掛金	538,292	555,300
有価証券	127,052	7,357
仕掛品	18,860	16,225
貯蔵品	2,680	3,464
その他	49,660	95,075
貸倒引当金	△2,165	△2,147
流動資産合計	3,730,859	3,552,315
固定資産		
有形固定資産	57,521	58,507
無形固定資産		
のれん	133,702	130,244
その他	189,243	198,753
無形固定資産合計	322,945	328,997
投資その他の資産		
投資有価証券	1,109,062	1,196,930
その他	568,608	614,420
貸倒引当金	△712	△697
投資その他の資産合計	1,676,958	1,810,653
固定資産合計	2,057,426	2,198,159
資産合計	5,788,285	5,750,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,106	129,108
1年内返済予定の長期借入金	53,319	55,320
未払法人税等	198,382	98,848
賞与引当金	78,878	82,383
前受収益	533,587	571,976
その他	343,986	328,293
流動負債合計	1,362,260	1,265,931
固定負債		
長期借入金	100,929	85,098
退職給付に係る負債	288,110	289,602
その他	180,572	185,678
固定負債合計	569,611	560,378
負債合計	1,931,872	1,826,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,880	291,880
資本剰余金	328,164	328,164
利益剰余金	3,199,020	3,287,996
自己株式	△151	△151
株主資本合計	3,818,914	3,907,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,499	16,275
その他の包括利益累計額合計	37,499	16,275
純資産合計	3,856,413	3,924,164
負債純資産合計	5,788,285	5,750,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	1,322,445
売上原価	643,115
売上総利益	679,330
販売費及び一般管理費	396,833
営業利益	282,496
営業外収益	
受取利息	4,952
有価証券売却益	1,310
助成金収入	5,560
その他	3,109
営業外収益合計	14,932
営業外費用	
支払利息	148
投資事業組合運用損	2,843
その他	39
営業外費用合計	3,031
経常利益	294,397
特別損失	
投資有価証券償還損	499
投資有価証券評価損	197
特別損失合計	696
税金等調整前四半期純利益	293,700
法人税等	93,351
四半期純利益	200,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,349

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	200,349
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△21,224
その他の包括利益合計	△21,224
四半期包括利益	179,125
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	179,125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。